

## 2026 年アジア・アジアパラ競技大会 学生ボランティアを積極的に派遣



### 全学共通科目「社会貢献活動」で単位認定



大会に出場する選手

大会運営に協力するボランティア学生

それぞれの挑戦をサポートします！

### 建学の精神「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」に基づき 地域・国際貢献を通じた実践知を養成

中京大学（愛知県名古屋市昭和区、学長：梅村 清英）は、2026 年に地元で開催される「第 20 回アジア競技大会」および「第 5 回アジアパラ競技大会」において、本学学生をボランティアとして積極的に派遣します。

本学は、建学の精神「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」に基づき、スポーツを通じた人間形成と社会貢献を重んじてきました。このたびの地元開催となる国際大会を機に、学生が社会課題を自らの問題として捉え、多様な主体と協働する「実践知」を養う極めて重要な教育機会と位置づけています。

## 1. 本件のポイント

### ① 全学共通科目として単位認定

組織委員会等が運営する「大会ボランティア」、開催都市が運営する「都市ボランティア」への参加に対し、活動時間に応じて単位認定します。

全学共通科目として認定科目を設置することで、大学全体としてボランティア派遣を推進します。

全学共通科目：「社会貢献活動」

所定の活動日数で最大 2 単位



## ② 教育的配慮

大会参加に伴う欠席や課題提出について、全学的な「教育上の配慮」の指針を策定。

学生が安心して挑戦できる環境を整備しました。

選手として参加する学生、ボランティアとして参加する学生が対象です。

## ③ 新プログラムとの連動

2027 年度開講予定「地域連携認定プログラム」の認定単位として、2026 年度の活動を遡って適用。

継続的な学びの体系に組み込みます。

## 2. 背景と狙い

中京大学は、五輪メダリストを多数輩出するスポーツの拠点であるとともに、地域社会との連携を教育の柱の一つとしています。本大会への参加を通じて、ボランティア学生が「責任感」「協調性」「決断力」といった社会で不可欠な能力を育むことを支援します。

また、単なる活動支援に留まらず、2027 年度より本格始動する「地域連携認定プログラム」の先駆的な実践事例として、学問的裏付け（理論知）と現場体験（実践知）を往還する学びを具現化します。

## 3. 実施概要

対象活動	大会ボランティア、都市ボランティア
単位認定	新設科目「社会貢献活動」として上限 2 単位 (活動日数等に応じる)
教育的配慮	授業欠席時の教材提供、代替措置、追試験等の全学的実施

### 本件に関するお問い合わせ先

学校法人梅村学園中京大学 広報部広報課

電話番号：052-835-7135（平日 9 時～17 時／直通）

メールアドレス：kouhou@ml.chukyo-u.ac.j

